

- 独居の高齢者の問題
- 市町村の人口格差
- 高知県民の給料が増えないと、子供を育てていくのも、介護をするのも難しいと思います。あと、男尊女卑の風土が残ってる会社では、女性の給料が低すぎです。
- 生活地域にすぐに相談できる知人の不在。
- 対策が必要だと思う。
- 子育て中なので子育てしやすい街になればいいと思う
- 人口の減少、高齢化が進んでも、今の人口密度で生活できるのかどうか？
- 空き家増加⇒地域環境の更新速度低下⇒スラム化⇒地域の二極化⇒さらなる人口流出
- 町内会の強制入会や会議の参加は、働いている家庭には難しい。町内会という存在を考えていかないといけない。民生委員や町内会長などの中立化。一部にしか機能していない。
- 子育てしながらの仕事のしやすさ
- どんどん子育てをしやすい社会にしてほしい。
- 50代の私自身一人っ子で今両親の介護をしていますが、父が認知症でおいておけず母の病院にすぐには行けないと言ったら病院の先生に誰かにみてもらえと電話で大声で怒られました。その誰かがいないのです。医者がこんなことも分からない…もっと皆優しくなりましょう。
- 孤独死や児童虐待が増加する
- 地域の高齢化が進んでいるので 不燃物の当番に出て行ったりするのが大変になる 近所にスーパーが全くなくなってしまったので買い物難民になる
- ひとり暮らしのお年寄りや老夫婦の方の把握。困っていても助けてもらう事が出来ない人がいないかどうか地域で協力し合って行く。
- 地域包括支援センターのケアマネジャーの質が悪すぎる。常に行政の指導が必要だと思う。
- コミュニティーが、成り立たなくなりかけている様に感じる。町内会活動が、崩壊の危機。
- 独居老人、民生委員の減少
- 挨拶をしない人が多い
- 児童虐待やいじめで自殺する子供を救い、今いる人口をまずは減らさないよう取り組む事が重要だと思います。
- 空き家、買い物難民
- 近所付き合いが全く無いのは、災害時にも困ると思うが、そういう私も近所付き合いが全く無いです。もう少しスムーズに付き合いが出来る関係になりたい気持ちもありますが、仕事もしているし、町内会の事なども煩わしく感じる。
- 高齢者単身世帯、ひとり親世帯が増えているが、社会との関わり、人との関わりが薄くなっているように思う。声をかけにくいし、見えにくくなっている。
- 今のところ、さほど困っていることは特にはないが、団地内でも空き家が増える傾向にあり、自分自身も子供達がみんな県外にいる状況から、この家をどうしようかと考えることがあります。
- 子供の預け先が不十分、特に一時保育がなくて困っている人が多い。限られた地域にしか対応してないのが問題だと思う。
- 子育てしやすい環境
- 子育てしやすい街づくり、子育て世代の増加して欲しいが、市内中心部、北部は土地は高いし狭い。
- 高齢化、独居老人問題。いずれ自分の問題だか、近所にいても、気づかないし、気づかれないかも。
- 既婚の私ですが、子どもは多ければ多いほどほしいなどは思いますが、子どもが多いほど仕事を休まなければならない場面も多くなる。給料は全然増えないのに出費は増える。とデメリットばかりなこのしくみと社会を変えてほしいです。私は妊活中ですが、学生時代に早期妊娠したほうが良いメリットなどを習いたかったです。

- 女性の社会進出と子育ての両立 待機児童
- 子育て中の母親が働きやすい職場づくり。子育て中には難しい仕事ばかりです。
- 少子高齢化と同時に、1人世帯も増え『孤独死』というケースも増えてくると思います。近所付き合いも難しくなっている世の中なので、地域や市の巡回が大事になってくると思います。
- 公共交通機関の貧弱さ。色々なイベントが企画されているけれど、内容は肉の串焼き、焼きそばなどどれも同じ様なものばかりの印象を持つ。
- 介護サービス特に、デイサービスの種類が不十分かと思います。今のような高齢者がレクレーションするようなデイサービスは自分は行きたくない。もっといろんな種類があると良い。リハビリ専門、娯楽専門、マッサージ専門のデイサービスなど。
- 分からない
- 少子高齢化は、高知市は福祉や医療（高齢者が恩恵を受けやすい）ものに多く税金が使われている印象が強いですので子育て世帯にもっと税金を使っていくと、もっと子育てしやすくなり、子供をもっと産もうと思う後押しになるように思います。
- 単身高齢者、空き家
- 子育てのしやすい環境作りが必要かと思います。それは支援制度や施設ももちろんですが、社会全体が子連れに対して(特に子供に対して)優しくなくなっているように思います。でもそれは子供の躰がなっていない部分も多いに関係しているとは思いますが。核家族化が加速し、家族以外とのコミュニケーションが減る中、躰も各家庭によって様々で、子育て世代とそれ以外それぞれの許容範囲が狭くなっているように感じます。もっと世代間の交流が増えるように、地域のお祭りを復活させたり、運動会をしたり、子供達が楽しめる世代間交流があるといいと思います。
- 高齢者の住居問題。賃貸は高齢者は借りにくい。単身者が増えており、身寄りや保証人がいない場合、孤立化する。低所得の高齢者の生活。高齢者の仕事の少なさ。貧困家庭が増えている。
- 一人暮らしのお年寄り 引きこもりの方
- ゴミ出しについて決まった時間に出せないからと、前日から出している方もいます。身近に相談できたり、決まり事を通せる方が居れば安心します。
- 町内会での持ち回り班長や月番を参加しない家庭があり、高齢の方や同じ人が不燃物の当番をしている
- 核家族化による子育て問題（コロナでの自宅待機など）の深刻化
- 高齢者が多くなるため、高齢者施設の充実が必要。入居できない人が多くでてきて一人暮らしが多くなる事の懸念。
- 労働者の高齢化は長く働けるのは良い事ではあるが、そのため若者が働きにくい状況になったり、中々昇進出来ないという状態。収入が増えなければ何も始まらない。
- 地域住民の活動への参加が少ない
- 地域課題の捉え違いによる実効性のない公費支出により、人や資金などのリソースの振り分けが中途半端。
- 安定して働ける場所が少ない
- お店のバリアフリー化
- 若者の誘致
- 町内会の機能低下による地域住民同士の人間関係の希薄化
- とにかく、賃金が安いこと。特に高知県内の他市町村と比べ、高知市はお金がないとよく言われている。住民にどこかあきらめ感がある。
- 一人暮らしの高齢者の生活支援
- 仕事している子育て世代が週末子の預け先に悩んでる。高齢者の話し相手がおらず認知が進むおそれがある。
- 長引くコロナで人と接するのが難しい時代ですが、困っている人には手を差し伸べたいです。
- 人口減少や少子高齢化
- 最近ではコロナ禍でイベント、地域のイベントなど無くなったので寂しいですね。特にお年寄りは家にひきこもったりで体調の変化に気づかれなかったりが増えて孤独死も増えると思います。
- コロナということもあり近所のかたと関わりづらい

- 交通網が充実していない。
- 交通の便
- 独居の高齢者が孤立しないように地域で把握する。高齢者が健康寿命を伸ばし生きがいを持って生きるために個々にあった仕事やボランティア活動の紹介を積極的に行う。共働きの家庭が安心して働けるために、学童や児童館を充実させる。
- 地域自治活動も大切だとは思うけど不燃物当番とか正直しんどい。パソコン処分したいとき信用度とか不安になって困ってる。警察の見回りとかしている姿が地域であると安心するけど、車の検挙的な（大きい道路しか）取り締まりしかしてないのも気になる。
- 地域でもっとコミュニケーションをとり、防災など皆で協力できるようにしてほしいです。
- 次きそうな南海大地震
- 地域との関わりがない、地域のことを知らないことが課題だと考えます。地域の課題に、何者でもない私何が出来るか分かりません。同じ考えの人が多ければそれも一つの課題かなと思います。
- 子供を育てやすい環境づくり。高校卒業まで医療費も負担してほしい
- 子供と一緒にもっと遊べるところが必要かな。高知は遊びに行けるところが少ないと思います。休みはみんなイオン。
- 晩婚化 生涯独身者の増加
- 福祉が充実すれば子育て世代は安心して子育てできそう
- 今の高齢の方はお互い交流があって支え合っているように思いますが、今の若い世代の子が年を重ねると、交流もせず孤立化が更に進むと思います。
- 老老介護
- 引越したばかりですが、コロナ禍もあり、地域の方との交流する機会がない。
- 子供の保育
- 子供を、産む環境が、必ずしも良いとは言えないと、思う。私の職場では、2人目できたと、伝えた人が、理不尽に退職させられました。
- 困り事があるお年寄りなどが、何処にどのように相談すればいいのか、わかりやすく行政の方がアピールをもっとした方がいいと思います。
- 気軽に出行ける場所があること。定年退職後の社会からの孤立は誰しもが抱える不安だと思います。
- 人口減少や少子高齢化でコミュニティの維持が厳しくなる。
- 高齢化社会になること、高齢者の自動車問題
- 子育て支援の拡充を重点的にするべき
- 各家庭が孤立せず、でもお互いいい距離感で助け合って過ごせる社会が理想だと思います
- 子供が出来たら、又は子供の事でしょっちゅう休むようなら退職して欲しいというような時代錯誤な会社が未だに少なくないこと。そんな状況では例え保育園に空きがたくさんあっても、生活のために働く女性は産むに産めないのも、いつまでたっても少子化は止まらない。
- 特になし
- ・独居や身寄りのない高齢者の増加 ・地域のコミュニティ活動の低下 ・後継者不足 ・子育て世帯の経済的負担
- 地域内で困っている人々の情報を予め住民間で共有しておく事が、災害時にも役立つと思うが、個人情報保護法がネックになっているのでは。
- 近くにいる、住んでいる人の事を知る機会がない。町内では古い人(老人)が幅をきかせていて若い人が遠慮して会から疎遠になる。
- 課題自体は既に出尽くしていると思う。あとはどのように対処していくか、方法論と覚悟の問題と考える。
- 商店街が閑散としている
- マンションやアパートなどの集合住宅も多く、地域、近所のつながりが希薄。
- 地産地消

- 同じ悩みを持つ人が、身近に意外と多くいると感じますが、解決にむけてアイディアを出し合う相手や機会は少なく感じます。相談したくても子どもを連れて、わざわざ足を運ぶとなると気がひけ、また誰に話して良いのかが分かり難く感じます。
- ちょっとしたことを頼める人が近くにいない。アパートなので、町内会費は払っているが、回覧板等もまわってこないで、住んでる地域の情報は全く入ってこない。
- 日本人ではない日本政府による人口削減計画がヤバ過ぎます。そして、移民を受け入れてどこまでもこの国を破壊しようと企んでいる人たを何とかして下さい。
- 賃貸住宅が多くなり近所付き合いが少なくなった。少子高齢化の速度が速くなった。若者特に再生産年齢者の減少が顕著になった気がする。若者の定住化には雇用の増大を図らなければならないが、可能であれば企業誘致も選択肢の一つであろう。
- わからない
- 福祉、医療に予算をつける。障害者、高齢者がひとりでは生活しづらいため、安価なグループホームをつくる。
- 災害時の対策。
- 高齢化社会
- 高齢者だけの世帯が今後増えて行くと思いますがサポートの必要性があると想像します。
- 災害時の高齢者の避難
- 高知県は他県に比べると仕事が少ない、賃金が安い、ガソリン代が高いなど若い世代には生活しにくい要素が多い。若い世代の人口を増やすためには企業誘致が必要だと思う。
- 我が家は3人子どもがいますが、周りの自分の同世代の人たちは結婚をしていなかったり、しようと思わない方がたくさんいます。結婚や子育てにマイナスイメージの方が多く印象です。少子化を身近に感じていて心配です。
- 自分さえ良ければそれで良いと考える大人の行動が問題。未来を担う子どもたちや地球に負荷をかけすぎていると思う。先を見据えて今ある様々な資源を大切にしてほしい。たとえばゴミの捨て方や交通マナーなど小さなことをとって不十分。
- スーパーが近くにないとお年寄りが不便。どうしても車を運転せざるを得ない。
- 少子高齢化でみんなの生活が大変になると思う
- 独居老人増加による気づかない孤独死や核家族化に伴い、地域関係が薄くなり、こどもの安全を守る見守りなどがやりにくくなる
- 津波が来なくて人が増えそうだけど、通学路が不安。
- 若者の就職
- 共助
- 子供の預け先の充実。学童に入れてない両親が働いている家庭で子供の長期休暇中に預け先がなくて困る。シルバーさんたちでうまいこと預かったりできるようなシステムできたらお互いにとっていいんじゃないかなと思う。
- 町内会なりてがない ゴミ集積が問題になる
- 防災に対する構え
- 近所との関係性の希薄さ。
- 町内会でコミュニケーションを取り、地域に関心を持つことが必要。
- 孤独死ってどれくらい発生しているんだろうか。独居老人のコミュニティが気に係ります。ゴミ出しの地域監視(誰がするのか、また不適當なゴミ出しされていた場合の対応)
- 私が住む地区は海が近いため、若者は津波を避けることが出来る場所に新居を構え、残されたものは高齢化が進み、高齢者が亡くなった家は空き家となっている。若者がいないの秋祭りのみこしの担ぎ手不足や獅子舞の稚児がおらず、従来の祭りが運営しにくくなってきています。
- 近隣のつながりが希薄なところ。
- 不燃物当番や河川清掃等の地域で取り組む事の出席が高齢者層が多い。高齢ではあるが必要に迫られて車を運転せざるを得ない方が多い。
- 低所得の歯止め

- より高い給与を求めて多くの人が県外へ移住してしまうこと。町の人口が減り、仕事がなくなり住みづらくなり、さらに人がいなくなるという悪循環になってしまう。
- 一人一人の協力と国の支援
- 離れて住む両親の介護問題 自分が高齢になった時の生活手段
- 高齢化が進み、買い物や病院へ行くこともなかなか難しい高齢者が増えていくので、若い私たちができることがあればとも思うが、小さい子どもがいて仕事もしているとそれもなかなか難しい。
- 高齢者が増えている
- 特にないです
- 地域包括支援センターが地域はもう少し地域に馴染む必要があると思います。このご時世なのでイベント等は行いずらいですが、イベント等が変わる物を行い地域住民に認知してもらった方がいいかと思います。
- 老人化に伴う産業等の衰退、過疎化への道
- 高齢化に加え1人家族の世帯が多いこと
- 買い物難民
- ・高齢化が進み、医療費がかかり高知県に負担がかかるのでは…と心配してます。 ・若い世代は、都会へ行ってしまうこと。 ・給料が安く子供を諦める人が多い気がする。
- コロナの影響による平等な問題解決
- 近くの商店が閉店すること。 近所に知り合いがいないこと。
- 助け合いの基盤づくり
- 限界集落が増える
- 年金問題。介護状況の悪化。労働者の減少。
- 遊ぶ場所、育てやすい環境
- 我が家は3人子供がいますが、大きくなるにつれてもお金もかかると実感してるのに、小さい頃にしか手当が入らない、医療無償、というところ。子供を育てていく上でいま、高校生、中学生、小学がいる自営業の我が家は、税金と子育てのお金で精一杯だったりします。自営業率ナンバーワンと言われてる高知県なので、子育て、仕事、しやすい県にますますのればなと思います。
- 介護要員の確保
- 今の時代は仕方ないのかも？
- 高知が年収が低いから未婚率が上がり、少子化高齢化が進む。賃金や手当をあげてほしい。
- 近所との関わりが少ない
- 公園の整備 道路の街灯
- 社会保険料、年金保険料などの増額などの負担が働き世代にかかる。
- 孤立化してしまう家庭
- 不安
- 外国人が、日本国籍になるしか無いかな？結婚も毎月と年収 貯金 仕事や年齢などで、結婚しない女性が多い 自分の時間や自分だけゆっくりしたい日が欲しいから、結婚しないが、多いし、シングルマザーなら、子供優先 元旦那で懲りて再婚しない、シングルファザーも同じ。
- 地域交流の機会が減り、どこにどんな人が住んでいるかわからない。
- 子供達の安全で健やかな成長を見守る健全な社会について。
- 昔と比べて近所や隣人との交流がないため、年配の方が増えてくるとさらに家から出ず交流もなくなっていく環境になると思います。
- 子供に給付することを増やしてほしい
- 高齢者や一人暮らしの方が多くなっている。近所にどんな人が住んでいるのかよくわからない。
- 子育て中の（特に未就園児）お母さんの孤立について 本人が声を上げづらく、困っていることが気づかれにくい、

●核家族化

●私の住まいの周辺は空き家が多くなり、家屋や庭の手入れ等がなされず、景観も良くないし、火事や不法侵入等が発生する可能性が多くなっていくと思われる。

●自分の事で、目一杯でわからない

●高齢化人口が増加する中、地域に溶け込んでない高齢者、特に男性の場合、相談することなく引きこもってしまうのではないかと。女性の場合は比較的コミュニケーション能力が高い方が多いが。

●新しい団地に入る年代は同じ年代で、同じ様に歳をとる。色んな年代が関われるようにできるシステムがあるといい。また、避難時の協力もそうだが、震災前に移住の推進をしてほしい。(移住者住宅でもいいから。)来てから移住よりよっぽどいい。

●近所の市管理の山の雑草の処理

●近所の知っている方も高齢化してきて 新しい方達との付き合いもなく 相談しやすい方がいなくなってきた

●近所の人達で困っている人を支えるようにしたいと思います。

●子育てしながら、働く環境整備を整える。会社に託児出来る場所をつくるなど

●とくになし。

●高知の活性化。高知に来たいと思うイベントや場所の設立

●独居老人のお世話。地域が高齢者ばかりになると町内会の運営さえ難しくなる